

わが職場

私が勤めている島産業株式会社は、香川県観音寺市にて昭和27年創業以来、主に廃棄物の再資源化や環境保全業務に携わって参りました。クリーンかつ安全な環境を、最大限に実現する施設と機器の開発・製造・販売を担っております。近年は、官公庁や大手重工機械メーカーからのご依頼を中心に、リサイクルプラザや粗大ごみ処理施設を、日本各地で設計施工しており、その数は業界でトップクラスの実績となります。また、これらの事業を行っていく中で、各処理施設の延命化、CO₂の排出量削減への寄与、そして家庭でのごみ出し環境を改善したい、という想いを強く持っています。環境を大切にしながら、生活を快適にする、これこそ我が社が提案する新たなごみ出し生活になります。この提案を実現するため、2005年より京都議定書に係る研究を行うRIITE（公益財団法人地球環境産業技術研究機構）より補助金を受け、観音寺研究所として活動を始め、生ごみ処理機の研究に着手致しました。そして、2013年に家庭用生ごみ処理機パリパリキューブ、2016年に家庭用生ごみ減量乾燥機パリパリキューブライトを、開発・商品化に至りました。現在、様々な販売ルートにて販売をさせて頂いており、私もまたこの課に所属して12年目を迎えようとしております。その中で経験から、一般家庭向けの商品を量産する中での安全衛生についてお話させていただきます。

弊社の一般家庭向けの商品は一貫してファブレスで、国内外の様々な協力工場で量産し、終始立ち合いを行い、安全、環境、品質の指導や仕組みを構築して参りました。そのほとんどの工場が海外であり、立ち上げ当初のKY活動やヒヤリハットなどに馴染みの無い現場がほとんどです。そのため工場立ち上げ時には、現場で作業者和同じ環境で作業を体験し、得た情報を基に、作業標準書や品質基準書の作成及び改訂、5S、KY活動などを行い、協力工場の経営者も一丸となって、改善点をすぐに現場へ反映させるのですが、作業者に中々本質の理解が得られない場合もあります。しかしながら、何度か繰り返すうちに、この活動に理解が得られ、自分達で現場を良くしたいという雰囲気になります。この様な業務を通して私は、誰もが安全を願い、より良い環境で働き、良いものを届けたいという認識は、世界共通だと感じております。

品質とは、その商品が作られた環境、作業者の気持ちなどが品質として形に表れると思っております。つまり、安全衛生に対する組織のモチベーションが高ければ、高品質な商品の安定生産に繋がると考えております。

今後も、日々活動の継続と向上を計りたいと思っております。

島産業株式会社
商品開発グループ 来見 幸太郎